

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位
麻酔責任医師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄採取 Day+4 で脳梗塞を発症した事例について（調査報告）

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年3月3日付で緊急安全情報を発出した標記事例については、非常に重大な事例であったため、当法人では外部委員（脳神経内科医、放射線科医、循環器内科医）を含むドナー安全調査委員会を設置し、再検討いたしました。その結果について、情報共有・注意喚起のため下記のとおりご報告いたします。

※参照（前回緊急安全情報） https://www.jmdp.or.jp/donor_safety/pdf/emergency/20220303.pdf

記

1. 結論

- 卵円孔開存が関与する潜因性脳梗塞の可能性が高い
- 脂肪塞栓の可能性は低い
- 骨髄採取との関連性は、否定はできない

2. 検討結果等

心エコー検査では卵円孔開存が確認されました。RoPE スコアが8点であること、高リスク塞栓源心疾患は認めないことより、卵円孔開存の関与が疑わしい潜因性脳梗塞の可能性が高いと判断しました。深部静脈血栓は確認できませんでしたが、血栓をとらえられない場合もあるため、塞栓源として除外することはできませんでした。

脳MRI では急性期塞栓性梗塞の所見が認められました。脂肪が偶発的に単一動脈領域のみに飛んだ可能性も完全には否定できませんが、単一の後大脳動脈領域の梗塞巣であり、脂肪塞栓症の典型的な所見とは言えず、画像診断上はその可能性は低いと判断しました。

今回の脳梗塞は日常生活に戻ってから発症しており、標準的な周術期間を考慮すると骨髄採取術がどの程度関与したかは不明ですが、その関連性を完全に否定することは困難であるとの結論に至りました。

3. 今後の対策

- ◆ 深部静脈血栓症予防の観点から早期離床に努めていただき、弾性ストッキング等の使用については現行どおり施設のご判断でお願いします。
- ◆ 卵円孔開存と片頭痛の関連性は明らかでないことから、新たにドナー適格性判定基準を定める必要はないとの結論に至りました。

以上